

当センターへ通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当センターでは、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 日本インターベンショナルラジオロジー学会（IVR 学会）における症例登録データベース事業

[研究機関] 大阪府急性期・総合医療センター 画像診断科 IVR センター

[研究責任者] 画像診断科 中澤 哲郎

[研究の目的] IVR 治療の有用性を検討するため

[研究の方法]

対象となる患者さん

平成 15 年 1 月 1 日以後に IVR による治療を受けた方

IVR 治療の具体例としましては、肝癌へのカテーテルによる抗癌剤動注塞栓療法その他、様々な出血に対するカテーテルによる止血治療、胃静脈瘤に対するカテーテルによる硬化療法、子宮筋腫に対する子宮動脈塞栓術、様々な部位にできる膿瘍(膿の溜まり)のカテーテルによる排膿療法、様々な部位の病変に対する生検(生検針による組織採取)など、多数あります。当 IVR センターが行う手技が主な対象となります。

利用するカルテ情報

共通項目：開始日時/ IDハッシュ値/ 性別/ 年齢/ 部位/ 血管・非血管/ 術式/ 術式(詳細)/ 疾患名/ 術者/ 指導監督医/ 協力医師数/ 協力看護師数/ 協力技師数/ I V R 室占有時間/ 手技時間/ 使用機材/ その他機器/ 成否/ 合併症有無/ 保険未・非適応材料/ 備考

詳細項目（当初は肝のTACEのみ）：背景肝/ 肝炎の原因/ 肝炎の原因その他/ 診断根拠/ 診断根拠その他/ 肝切除の既往/ TA（C）E初回治療日/ 最大腫瘍径/ 腫瘍個数/ 多発例/ 主腫瘍形態/ 門脈浸潤/ 肝静脈浸潤/ 胆管浸潤/ HCC破裂/ 肝外転移/ 肝外転移その他/ 塞栓物質/ リピオドール使用・不使用/ リピオドール使用量/ 抗癌剤/ 抗癌剤その他/ 抗癌剤使用量/ 塞栓範囲/ 肝外動脈塞栓術/ 肝外動脈塞栓術その他/ 合併症/ 合併症その他/ 肝動脈塞栓術による死亡/ PS / 脳症/ 腹水/ ビリルビン値(mg/dl) / アルブミン(g/dl) / ICG R15(%) / プロトロンビン活性値(%) / 肝障害度腹水/ 肝障害度血清ビリルビン値/ 肝障害度血清アルブミン値/ 肝障害度ICGR15 / 肝障害度プロトロンビン活性値/ 肝障害度/ Child-Pugh分類肝性脳症/ Child-Pugh分類腹水/ Child-Pugh分類血清ビリルビン値/ Child-Pugh分類血清アルブミン値/ Child-Pugh分類プロトロンビン活性値/ Child-Pugh分類/ AFP / AFP-L3 / PIVKA-II / 初回肝内再発

有無/ 初回肝内再発年月日/ 初回肝内再発に対する治療/ 初回肝内再発に対する治療その他/ 肝外再発の有無/ 肝外再発の有無その他/ 肝外再発年月日/ 肝外再発に対する治療/ 肝外再発に対する治療その他/ 生死/ 死因/ 最終確認日/

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

大阪市住吉区万代東 3-1-56

大阪急性期・総合医療センター 画像診断科 中澤 哲郎

電話 06-6692-1201・・・・・・ FAX 06-6606-7000・・・・・・